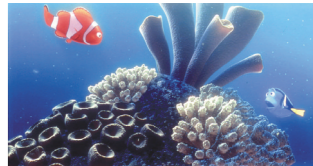




オーディオビジュアルのポータルサイト
http://www.ongen.co.jp

DISNEY/PIXAR



ADVERTISING ● 広告索引

- ア行
 - アキュフェーズ (AVアンプ) 201
 - アバック 202,203
 - アバック 289,290,291
 - イーストン (スクリーン) 204
 - イメーション (DVD-Rディスク) 108
 - エプソン 販売 (液晶プロジェクター) 24
 - オルトフォンジャパン (ビデオケーブル) 187
 - オンキヨー (AVアンプ) 20
- カ行
 - キャン販売 (液晶プロジェクター) 224,225,226,227
 - KEF JAPAN (スピーカーシステム) 205
- サ行
 - サエック・コマース (ビデオケーブル) 279
 - 三洋電機 (液晶プロジェクター) 16,17
 - 三洋電機 (液晶プロジェクター) 130,131,132,133
 - シネマらんじ 274
 - ジャパンバリュー (PC周辺機器) 197
 - ソニー (プラズマテレビ) 8,9
 - ソニー (ホームシアターシステム) 10,11
- タ行
 - TDK (DVD-Rディスク) 22
 - デノン (DVDプレーヤー) 表3
 - デノン (DVDプレーヤー) 134,135,136,137
 - 東宝 (DVDソフト) 223
 - トム・デック 282
- ナ行
 - 日本テキサス・インスツルメンツ (オーディオコンバーター) 228,229,230,231
 - 日本ビクター (デジタルハイビジョンビデオ) 14,15
 - ネットワークジャパン (スクリーン) 283
- ハ行
 - ハイオニア (プラズマテレビ) 4,5
 - ハイオニア (DVDレコーダー) 6,7
 - ハイオニア 74,75,76,77,78,79
 - ハーマンインターナショナル (スピーカーシステム) 32
 - 日立マクセル (DVD-R/RW/RAMディスク) 65
 - 富士通テン (スピーカーシステム) 25
 - フュレシオーディオ事業部 (電源タップ/ケーブル) 191
 - プロスペース (デジタルビデオ編集機) 80
 - ポーズ (ホームシアターシステム) 表4
 - ポーズ (スピーカーシステム) 21
 - ホームシアター (スクリーン) 23
- マ行
 - 松下電器産業 (デジタルビデオカメラ) 表2,3
 - 松下電器産業 (DVDレコーダー) 29,30
 - 松下電器産業 (プラズマテレビ) 66,67,68,69
 - 松下電器産業 (液晶プロジェクター) 70,71,72,73
 - 三菱化学メディア (DVD-Rディスク) 18,19
 - メディアックス (DVDチェックディスク) 181
- ヤ行
 - ヤマハ (AVアンプ) 12,13
 - ヤマハ (AVアンプ) 122,123,124,125,126,127,128,129
- ラ行
 - ラディアス (DVD-R/RW/RAMディスク) 34

SERIALS

- 234 新連載/第2回 **DVDメディア相談室** ● 斉藤宏嗣
「4倍速対応DVDの常識・非常識」
- 167 連載/第12回 **市川二朗のしあわせ劇場** ● 市川二朗
エントリープロジェクターの画質に驚嘆 大画面ライフの主役が決まった!
- 198 連載/第12回 **片岡キョウジュのホームシアター新論** ● 片岡 裕
- 281 **シネマDSPマジック『マトリックス・リロードド』** ● 林 正儀
- 284 **読まぬは一生の恥** ~「音声フォーマット」の巻~ ● 井上千岳
- 176 **THAT'S HOME ENTERTAINMENT!** ホームシアターのネクストステップを探る
D-CINEMAホームシアター ● 吉田伊織
「防音室「アビテックス」ホームシアターへの応用」
- 182 第16回 **BOSE** 人々 ● 井上千岳
「125で再び出会う ポーズの芳醇なサウンド」
- 184 スクリーンを極める ● 吉田伊織
「ネットワークジャパンのスクリーン」
- 188 ホームシアターの内なるオーディオ ● 井上千岳
「いま、あらためて問う マルチチャンネルオーディオはどのようにあるべきか?」
- 192 HTPC Co. ● 長岡英明
「ジャパンバリューのHTPC新シャーシをつかいこなす」

NEW DISC NEW PROGRAM

- 237 **OUT NOW!** 特選ソフトホットレビュー
● 小林弘利+こばやしあさり+米谷神之介+デルモンテ・平山+永野寿彦+藤島要吾+増田満喜+横森 文
襟川クロのストレンジャー・イン・パラダイス ● 襟川クロ
246 **「子供と動物は映画界を支える最強の「アイテム」」**
SOME LIKE IT HOT
248 超高画質DVD『スパイ・ゾルゲ』篠田監督インタビュー ● 吉田伊織
251 スーパーヒット新作が続々登場! ● 飯塚克味
254 ハイクオリティ盤を探せ!「今号の高画質ディスク」 ● 長岡英明
276 DVD HOT REVIEW 新・私の一枚 ● 貝山知弘
「夜になるまえに」(2000・米)
255 **オールカラー版 DVD&LDクオリティチェック** ● 麻野 勉+市川二朗ほか
271 **UP COMING! DVD新譜リリース情報**
278 **DVDエクспレス** ● くらせみきお

REPORT

- 220 家庭用ハイビジョンビデオカメラ規格HDVが確定 ● 山之内 正
- 232 ユビキタス時代の新感覚デジタルカメラD-Snap ● 大町秀史
- 275 家庭のコンボに直接音楽配信するanymusicって何? ● 美崎 薫
- 280 ドルビープロロジックIIxを聞いた ● 井上千岳
- 287 第7回バイオニアカーサウンドコンテストが開催 ● 編集部

INFORMATION

- 252 **創刊20周年記念第一弾・読者大プレゼント** 222 **Phile-web** ニュース
- 286 **愛読者アンケート** 292 **愛読者さまサービスステーション**
- 205/279 **インフォメーション(ハード)** 294 **編集後記**
- 274 **インフォメーション(ソフト)**

(注)「スーパーヒットモデル・ロングランチェック」は特集掲載のため、休載させていただきました

表紙写真 ● 林 久光
表紙デザイン ● 大前英史デザイン室
デザイン ● 石井 健/山名麗子/ハセデザイン
口絵写真 ● 川村容一
イラストレーション ● インナミリサ
タイトルロゴ ● 石井 健

SPECIAL FEATURE

35 総力特集 地上波デジタル放送テイクオフ! 地上波 デジタル放送 コンプリートガイド



- 35 地上波デジタル放送直前! 放送局は何を思う ● 山名一郎
- 41 地上波デジタル放送の前にテレビ50年史を振り返る ● 佐藤和俊
- 43 地上波デジタル放送推進協会「D-pa」設立 ● 佐藤和俊
- 44 デジタルラジオ放送を聴く ● DRP 松村安紀
- 45 国際放送機器展レポート ● 佐藤和俊
- 46 地上波デジタル放送Q&A ● 佐藤和俊
- 51 地上波デジタル放送対応機器スクランブルテスト(プラズマ、液晶、チューナー) ● 村瀬孝矢

31 巻頭言 透視図 ● 山之内 正/貝山知弘

81 特集2 地上波デジタル放送スタート 冬の新製品 大収穫祭



- 82 AVアンプ&DVDプレーヤー編 ● 井上千岳/貝山知弘/村瀬孝矢
- 92 DVDレコーダー編 ● 会田 肇/大町秀史/林 正儀/増田和夫
- 110 プロジェクター編 ● 林 正儀/村瀬孝矢/山之内 正
- 138 スピーカーシステム/アンプ編 ● 井上千岳/小林 貢/林 正儀/山之内 正
- 155 スクリーン編 ● 村瀬孝矢

SCRAMBLE TEST

207 **VGP** 発表! ビジュアルグランプリ2004 ● 貝山知弘

159 新連載第3回 特選ホームシアターアクセサリー ● 麻野勉+井上千岳+林正儀+美崎薫+吉田伊織

COVER STORY

表紙の製品

ヤマハ
DSP-Z9
AVアンプ



発売中
¥500,000

PROFILE

林 正儀

ヤマハZ9には、究極の「1ch」シネマDSP再生の意味がある。9代目にしてようやくとどろいた壮大な作品であり、かつTHX対応(ウルトラ2)という点でも従来とは一線を画すものだ。前モデルのDSP-AZ1からは、外観的な印象とビジュアル思想こそ引き継ぐものの、内容はまったく異なる。

コンセプトは「ビュファイアリティ」だ。まずリアの端子配置からわかるようにDSP部、映像信号部、プリ・パワーアンプ部を3層の独立ブロック構造とし左右対称なレイアウトを採用。寸分たりともシグナルの緩衝を許さないと、いう意思がみとれる。中央に巨大なトイタルコンデンサを擁し、パワーアンプ段は定格出力100W×7、50W×2という余裕の高出力だ。

注目の「音場」の部分では、従来比6倍の処理能力をもつHDシネマDSP。すなわち32ビット動作のYS1930×8基を投入して、各音場データの大幅なリファインが可能となった。Z9に搭載した再生モードのすべてが極めて高度、かつ緻密な音場再生を約束されるわけだ。

本機は入力のアナログ信号に対して96kHz/24ビット精度のA/D変換が全チャンネルで可能だが、このアナログ・デジタルのいずれの入力に対しても、ユーザーが信号経路を自由に選べるのは前例のない仕掛けだ。ステレオイレクト、マルチチャンネルなどがその例だ。またスピーカーイレクトにスピーカーサイズ、距離と周波数特性、チャンネル間レベルの5項目を確認。自動設定するYPAOが加わったことで一段とDSPモードのかけあわせが面白くなった。さまざまな機能を使いこなすGUI画面の直感的なわかりやすさもAVアンプでは画期的。また一歩究極に近づいた、期待のヤマハフラッグシップである。

開発担当者は語る

ヤマハ株式会社 AV・IT事業本部
マーケティング室 室長 安藤 貞敏氏

当社がこの年末にお届けするDSP-Z9は、現在ヤマハが持つAVアンプ技術の粋を集めた渾身のフラッグシップアンプです。

開発に当たって、「妥協を一切排除すること」を共通認識として音質面、画質面そして機能面でもヤマハだけではなく業界のフラッグシップとして評価をいただきました。その思いでスタートしました。一例を挙げますと、ヤマハAVアンプの最大の特長であるDSP(音場創成)においては、データ処理能力を従来比約6倍に向上させ、より自然なスムーズな音場を実現しました。いままでのDSPは、お客様に私でも用意した音場の中からお好みに応じて楽しんでいただくという、いわば受身の音場の楽しみ方でしたが、このZ9ではヤマハのDSPコンセプトの「家庭と映画の音場の美、家庭とコンサート会場の差」という物理的な違いを克服するという原点に立ち返りました。そしてDSPと視聴環境最適化システムの思想を融合させることでお客様一人一人で違うリスニング環境下での最適音場を提議する、より能動的な音場創成を目指しました。

また、最大の難点といわれるユーザーインターフェースにおいては、アンプでは世界で初めて日本語対応のGUIを採用し、飛躍的に使い勝手の向上をはかりました。なかなか時間の取れない現代の日常生活において、心ゆくまで音楽を楽しんだり、映画を楽しんだりする時間は本当に貴重です。毎日アンプのスイッチを入れる幸せな人はあまり多くないのではないでしょうか。それだからこそ、その大事な時間に存分に浸っていたきたい、その至福の時間を十分に楽しんでいただきたい、そしてそれを奏でる至善のシステムにZ9がいることをいつも思い描いて開発を進めました。是非、Z9で体験したヤマハ・デジタルホームシアターの神髄をご体験ください。